

製品名: PAI-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15702**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	SERPINA5
別名	SERPINA5; PCI; PLANH3; Plasma serine protease inhibitor; Acrosomal serine protease inhibitor; Plasminogen activator inhibitor 3; PAI-3; PAI3; Protein C inhibitor; PCI; Serpin A5
遺伝子 ID	155698.0
SwissProt ID	P05154
免疫原	抗血清はヒト Serpin A5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 260-309

背景

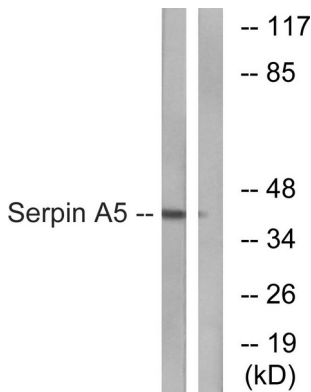
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリンプロテアーゼを阻害するタンパク質群であるセルピンファミリーに属しま

す。この遺伝子は、14番染色体のQ腕に位置するセルピン遺伝子群の一つです。このファミリーメンバーは、プロテインC、様々なプラスミノゲンアクチベーター、カリクレインなど、複数のセリンプロテアーゼを阻害できる糖タンパク質であり、複数の臓器における止血および血栓症において多様な役割を果たしています。[RefSeq 提供、2012年8月]、機能：活性化プロテインCおよびプラスミノゲンアクチベーターを阻害します。、類似性：セルピンファミリーに属します。、組織特異性：肝臓で発現し、血漿中に分泌されます。、

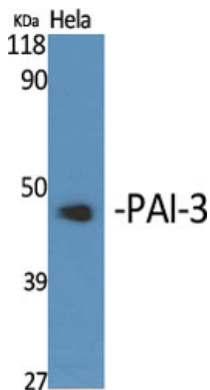
研究分野

補体と凝固カスケード;

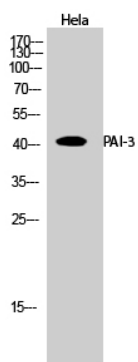
画像データ



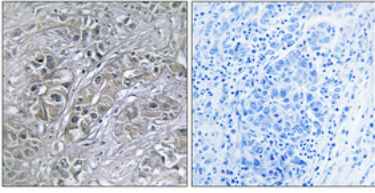
Serpin A5 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PAI-3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



PAI-3 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。